

教育大学との連携事業

農林中央金庫

電通

福岡県森林組合連合会の方々

福岡県森林組合連合会 宗像支部の方々

木育プロジェクト
「木(気)づかいてきる子を育む「木づかい」教育」
1月16日(木) 17日(金)
日の里西小学校 5年生
今年度から開始。長崎・埼玉・山形・福岡県で実施
福岡県では4例目です

木育のねらい
一人ひとりの木(気)づかいが
地球環境や身近な暮らしを改善
し明るく豊かな未来の創造へと
つなげ理解と具体的な行動が
できるように育む

福岡教育大学
技術教育講座 木材加工学研究室
准教授 大内 毅 先生

九州大学
農学部附属演習林
森林生産制御学分野
准教授 内海泰弘 先生

地球環境への木(気)づかい
豊かな地球環境を作るため日本の
荒れた森林を管理、整備し木材を活
用していける子どもを育む

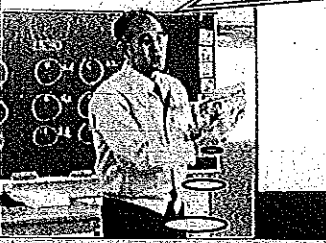
身近な生活環境のための木づかい
暮らしの豊かさや木の文化を伝承、
創造するために生活の中に木を活用
していける子どもを育む

講義説明を受ける (1/16)
○大内先生と大森さん(福岡県森
林組合)の説明を聴く
○日本の森林と林業について
○木のはたらきについて
○福岡県版及び全国版のテキ
ストを活用しての説明

教室での体験実習 (1/16)
○丸太切り チェーンソーで
のデモンストレーションを
見学
○ノコギリで丸太切り体験
○ヒノキの椅子づくり
釘打ち・金槌体験

九州大学農学部演習林での
実習体験 (1/17)
○九州演習林での講義
○間伐の体験
○専門技術職員による チェーン
ソーでの間伐作業の参観
○資料室見学

日本の国土の2/3は森林、その内59%が天然林で41%が人工林です。人工林は苗木を植えて手入れをします。スギ、ヒノキ、カラマツなどの針葉樹を植えます。木が育ってくると木と木の間の細い木を伐採して隙間をつくり光が行き渡るようにします。そして残った木を太く育てて主要木材として切ります。切ったあとはまた苗木を植林します。これが人の手が計画的に入った人工林です。



福岡県版と全国版の
木育テキスト



教育大学の技術講座の大学
院生さんも来てくれました



森林や木はさまざま
な働きをしています。

大内先生の説明を真剣
な表情で聴く 5年生



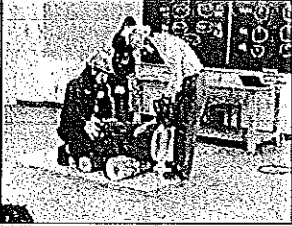
福岡県
森林組
合連合
会の大
森さん
のお話



ノコギリで丸
太切りの体
験
ノコギリは
引く時に力
を入れる！



宗像森林組
合連合会
の皆さん
チェーン
ソーでの丸
太切りを演
示してくれ
ました。



一人ずつヒノキの
椅子づくりに挑戦
釘打ちは本当に
難しいなあ！

やったー
できたぞ
完成

福岡教育大学との連携事業

木育プロジェクト

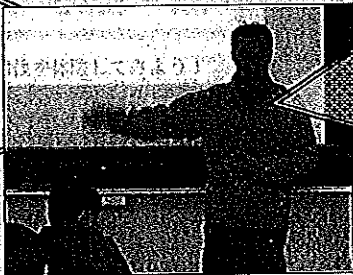
「木(気)づかいてできる子を育む「木づかい」教育」
1月16日(木)・17日(金)
日の里西小学校 5年生

九州大学との連携

福岡教育大学
技術教育講座 木材加工学研究室
准教授 大内 毅 先生

1月17日 大内先生が九州大学農学部の演習林に連れて行ってくれました。
そこで内海先生と技術職員の井上さん(東郷在住)に出会うことができました。

九州大学
農学部附属演習林
森林生産制御学分野
准教授 内海泰弘先生



ここは森や木のことを勉強したい人が教科書のような本ではなくて森そのものの中で学ぶ所です。日本は全土の66%が山です。それなのに、林家(森や木を作る人)は5万人です。田や畑で作物を作る人は農家と言い、260万人います。日本には林家が少なくとも森や山、山が荒れているのです。今日は実際に山に入って山を守るための間伐を体験してください。



林には天然林と人工林があります。人工林は人が計画的に木を植えたり切ったりする必要があります。人工林は針葉樹(ヒノキやスギ)を植えています。ここでは元気な森林をつくるためには、ときどき間の木を伐採し、ある程度の空間をつくる必要があります。木が混んでいると息苦しくてよく育たないのです。今日は切ってもよい木に記をつけているのでその木を切ってください。

いよいよ現地に向かって出発!



赤いリボンの木を見つけてノコギリで切ってください。

一人ずつ伐採に挑戦! ノコギリは大変だあ!

樹齢40年の木が小学生の力で倒れます!

なんと現地には鹿が角を研いだ後が残っている木がありました。



交代でノコギリを挽いて、木が倒れそうになると大きな声で「倒れるよー。」と叫び周りに知らせます。

切ったぞー!

伐採を終えて一息。ヒノキのいい香りがするよ。大学院生さんとのふれあい。

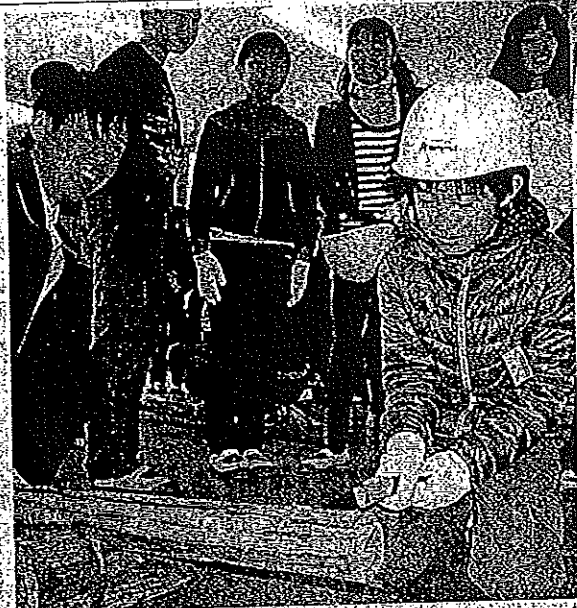
チェーンソーでの伐採作業も見せてもらいました。生の迫力に皆、唖然



大内先生ま
とめのお話
木の活用や
森林のこと
を考える人
になってくだ
さいね。



最後に資料室まで見せていただきました。樹齢600年の屋久杉の標本にはびっくり! ここにしかないそうです。



日の里西小5年生 森林の大切さ学ぶ

宗像市
木に親しむことで森林保
全の意識を高める「木育」
の授業が16日、宗像市の日

の里西小(木部里美校長)
であった。5年生約50人が、
専門家の講話や間伐の疑似
体験を通じ、森林の特性を
学んだ。

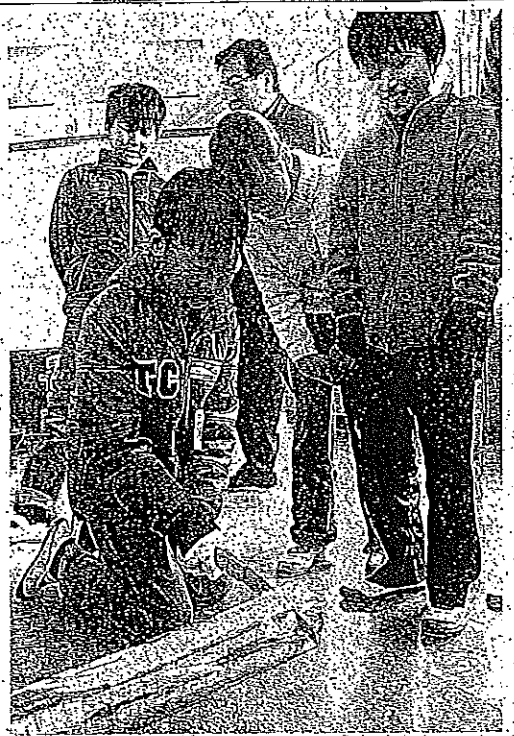
農林中央金庫が林野庁の
補助金を受け、県森林組合
連合会などと協力して実
施。講話では、福岡教育大
の大内毅准教授(45)「木材
加工学Ⅱが「国内の森林の
約4割が間伐や植林などの
手入れが必要な人工林で、
木の有効活用が必要」など
と解説した。

間伐作業を練習する日の
里西小の5年生たち

17日には篠栗町内の演習
林で、間伐作業を体験する
という。

H26.1.17朝刊

(毎日)



のこぎりのひき方を学ぶ児童たち

森林の役割学ぶ のこぎり体験も

5年生に「木育」授業

宗像・日の里西小

木に対する親近感を
育む「木育」の授業が16

日、宗像市の日の里西
小学校であった。農林
中央金庫が県森林組合
連合会や福岡教育大と
協力して実施。5年生
約50人が日本の森林の
現状と役割を学び、間
伐された丸太にのこぎ
りをひく体験をした。

ことを説明。県森連の
職員が地元産の杉の丸
太を実際にのこぎりで
ひいた。
その後、児童が慣れ
ない手つきながら、職
員のアドバイスを受け
ながら懸命にのこぎり
をひいた。木下裕樹さ
ん(11)は「板は切った
ことがあるけれど、丸
太は初めて。引がか
ったりして難しい」と
話していた。

農林中金などによる
と、木育授業は今年度
から始まり、これまで
長崎、埼玉、山形の各
県で実施している。福
岡は4県目で、2月に
は福岡市の赤坂小学校
でも授業をする。

【山下誠司】

「福岡教育大学との連携による研究プロジェクト」特別支援教育
講演会の実施と報告

講師 アンダンテ西萩教育研究所 金子春恵先生
演題「UDL学びのユニバーサルデザイン」を授業に生かす

1月21日17:30~19:00

時間外の講演会でしたが自由参加で25名の先生方が参加

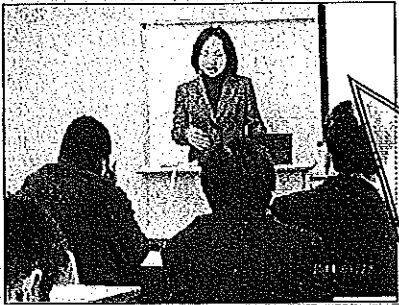
UDL(Universal Design for Learning) (学びのユニバーサルデザイン)

- ・すべての人に等しく学習の機会を提供するカリキュラムの開発のための原則集
 - ・すべての人に効果的な教育目標、方法、教材教具、評価をつくるための青写真(構想)を提供します。ある一つのものや、全ての人に一つのを合わせるような解決方法ではなく、個々のニーズに合わせて選択(カスタマイズ)や調整が可能である柔軟なアプローチを指します。
- ※米国の研究団体CAST(Center For Applied Special Technology)が提唱

UDLの視点で授業を変える・創る

- ◎発達や学びのプロセスは一人ひとり違う。授業や学級経営をどう変えればどの子にも学べる環境を提供できるか。それを考えるのがUDLです。
- ◎人はひとりひとりみな違う。今のカリキュラムは、「平均的な子」を想定したその子のためのカリキュラム。教室の中に存在する多様な学習者に対応できるものではない。

すべての生徒(学習者)に最適な
ただ一つの方法は存在しない



教室にはいろいろな子がいます。教室にいるのさえ苦痛な子もいます。教師や他の子どもの声を聞き取りにくい子がいます。板書をノートに書き取ることが苦手な子がいます。光やにおいに敏感で気が散ってしまう子がいます。そのような子ども達がいることを受け入れる教師になる必要があります。それらの子ども達の意欲を削ぐことなく学習に向かわせる手立てを工夫するのが教師の仕事です。(金子先生)



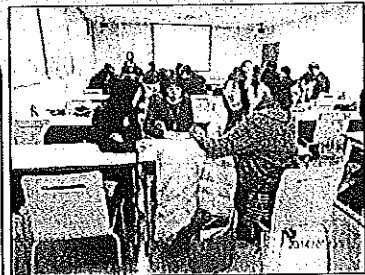
参加者の先生方、皆さんも身
前に金子先生のお話を傾け
ておられます。

演習
グループ協議

教室にいる子どもの姿を想定してどんな指導の工夫ができるかをグループで考えます。

どのグループもとても熱心!

板書を写せない子にはデジタルカメラで写真を撮らせてノートに貼らせるのはいかがでしょうか。



時間外なのにこんなにたくさんの宗像地域の先生方が参加してくださり大変うれしいです。UDLの考え方はあと2年後には全学校に広がります。前もって研修しておくことはとても大事です。小中学校の時に「ちょっと変わった子」も成人したとき、社会で生きていき税金を支払える人に育てることが私たちの責務です。学校も社会も変わる必要があります。(楠富先生)